

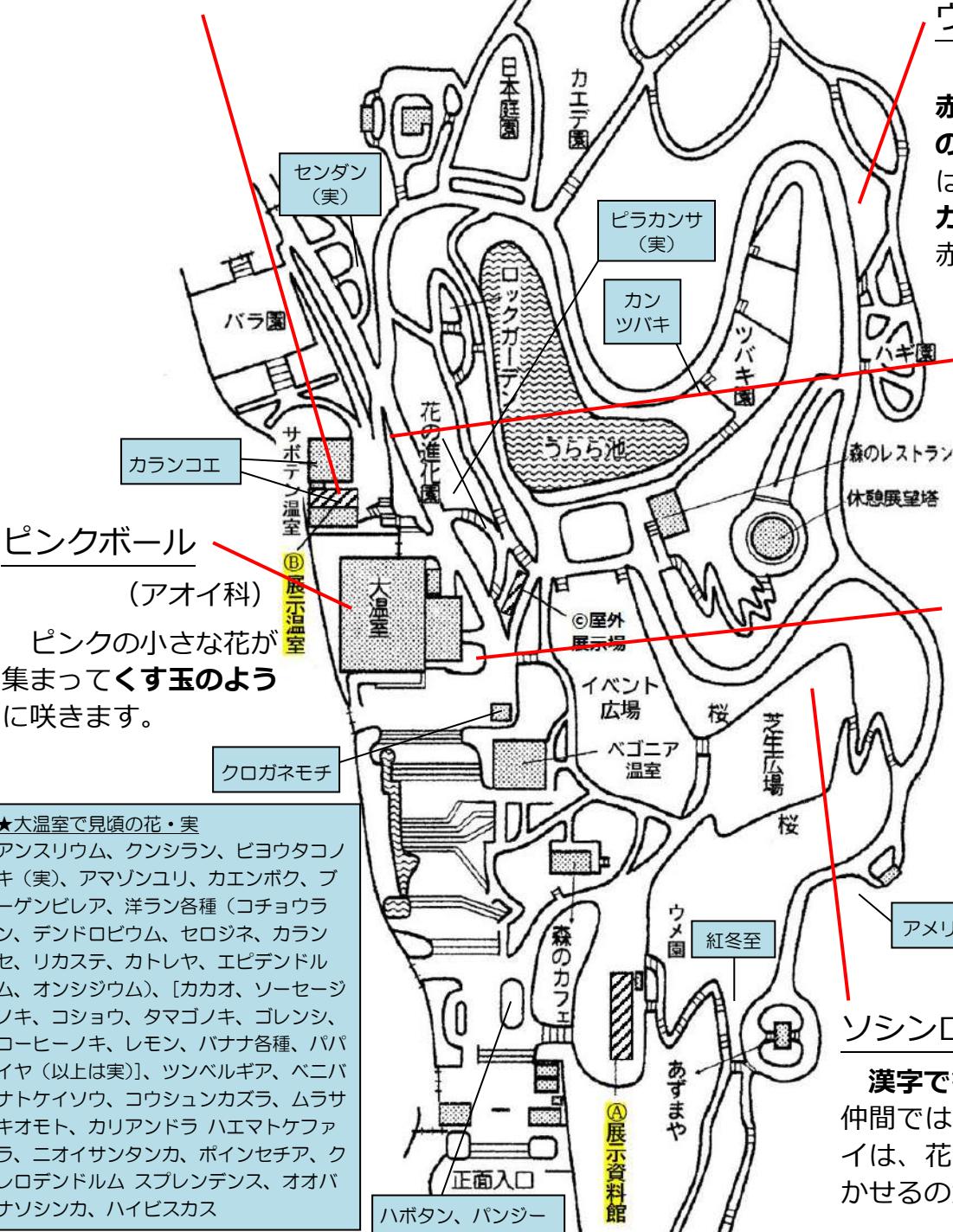
広島市植物公園 見どころ案内



正月咲きの小菊（寒菊）

（キク科）

小菊やカラソコエを始め、ビタミンカラー（黄色）の寄せ植えなど、たくさんの花を飾っています。



展示会のご案内

Ⓐ展示資料館

植物写真コンテスト作品展

（1/10～2/18）

広島市植物公園写生大会入賞作品展

（1/17～2/15）

Ⓑ展示温室

冬の鉢花展（1/7～2/1）

ウメモドキ（モチノキ科）

和名に梅がつきますが、赤い実をつけるモチノキのなかまです。この時期は、クロガネモチやアメリカヒイラギなどの同属の赤い実がよく目立ちます。

麦の芽生え（イネ科）

小麦や大麦などの麦の芽がでています。梅雨入り頃の6月が収穫期です。

コガマ（ガマ科）

円筒形の穂形から、「きりたんぽ」や「かまぼこ」の由来になったと言われます。中から綿毛のついた果実が出てきています。

ソシンロウバイ（ロウバイ科）

漢字で書くと「蠟梅」ですが、梅の仲間ではありません。ソシンロウバイは、花全体が黄色で大きな花が咲かせるのが特徴です（園芸品種）。

✿ 毎週土・日曜日・祝日 午後1時半～3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します ✿

✿ 1/27、2/7、2/24 午前11時～は、職員による植物うんちく語りを実施します ✿